

令和3年度学校評価書

蕪崎市立蕪崎東中学校

『令和3年度学校評価計画』

【自己評価】

教職員による学校評価アンケート

前期 令和3年 7月 7日～ 7月22日

無記名・評定尺度4段階・一部記述式・単純集計

【回答者数 33名】

後期 令和3年12月 7日～12月10日

無記名・評定尺度4段階・単純集計

「Googleフォーム」を活用 【回答者数 27名】

【学校関係者評価】

実施日 令和4年2月9日（水）

評価者 学校評議員（5名）

（参考アンケート）

（1）保護者アンケート 令和3年11月25日～12月3日

無記名・評定尺度5段階（E：わからない）

「Googleフォーム」を活用 【回収者数 317名】

（2）生徒アンケート 令和3年12月 7日～12月10日

無記名・評定尺度4段階

「Googleフォーム」を活用 【回収者数 372名】

『回答方法および数値について』

後期評価より、職員・保護者、生徒とともにインターネット環境を利用した「Googleフォーム」を活用しアンケートをおこなった。

- （1）各項目についての評価は（ A：そう思う B：だいたいそう思う C：あまりそう思わない D：そう思わない ）の4段階から該当すると思う段階（A・B・C・D）の1つに○印を付けて回答している。
- （2）参考として付けた、保護者アンケート結果、生徒アンケート結果については、全校からの回答割合を%数値で表記してある。
- （3）表中のavg. は、A～Dを各4～1点として、平均として表した数値である。平均として2.5ポイントが目安となる。
（E：わからない については点数化していない）
- （4）前期比、前年比欄は、このavg. を前期（本年度7月実施）と比較したもの、前年（昨年度11月実施）と比較した数値である。

令和3年度 自己評価(後期)

1 「そう思う」というイメージが高かった(平均が高かった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
9	校舎内外の施設設備について定期的に点検し、結果を的確に処理(整備・保全)している。	3.6	0.0	0.0
	課題・意見			
総括	◎毎月の安全点検や日常の連携で早めの対応を心がけることができた。			
改善	◎今後も全職員が協力して適切に行っていく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
25	読書活動は効果的に計画・実施されている。	3.5	0.0	0.0
	課題・意見			
総括	◎慈愛の時間や一斉読書を中心に適切な読書指導が出来ている。			
改善	◎今後も年間計画に沿って適切に指導していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
30	生徒の規範意識をはぐくむ指導をしている。	3.5	-0.2	0.0
	課題・意見			
総括	◎前期と同様に高い評価を得ることができた。			
改善	◎今後も経営方針や努力点を踏まえて協力的に行う。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
35	保護者や地域に、学校の教育活動について広報している。	3.5	-0.1	-0.2
	課題・意見			
総括	◎学校だより、学年・学級だより、保健、給食、図書など多くのたよりで広報し、学校生活の様子を伝えることができた。			
改善	◎今後は学校HPの充実を目指して努力していきたい。			

2「そう思わない」というイメージが高かった(平均が低かった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
18	授業において個に応じたきめ細かな学習に取り組んでいる。(改善項目③)	3.0	0.0	-0.1
	課題・意見			
総括	◎TTや学習支援員によるフォローで個に応じた学習指導への取り組みを行っているが、昨年度と同数値となっている。			
改善	◎TTの工夫や学習支援員による手厚いフォローなど、個に応じた学習指導のあり方について継続して研究を進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
26	家庭学習を支援する手立てを行っている。(改善項目⑤)	3.0	-0.2	0.0
	課題・意見			
総括	◎昨年比よりより-0.2ポイント減少した結果となった。また、生徒の数値は3.2であるが保護者の数値では2.9と家庭内の意識のずれが見られる。			
改善	◎家庭学習については小学校時代からの学習習慣が大きく影響してくると思う。課題(宿題)の与え方、自主学習の取り組み方法など、発達段階に応じてどのように指導していくかを課題に来年度も継続して取り組んでいきたい。			

参考資料
生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
11	あなたは、家庭で毎日勉強していますか。	3.2	3.3	

保護者アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
7	お子さんは、家庭で毎日勉強していますか。	2.9	2.8	

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
38	「通信表の二学期制から三学期制」への移行は効果を上げている。(改善項目⑦)	3.0	-0.2	-0.2
	課題・意見			
総括	◎昨年比、前期比より0.2ポイント減少している。			
改善	◎今年度は3学期制に戻して3年目となる。通信表については新学習指導要領の改訂や統合型校務支援システムの導入により検討の余地が出てきている。今後は定期テストや望ましい評価について検討を進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
40	レベルアップ学習は効果が認められる。(改善項目⑧)	2.9	0.1	0.0
	課題・意見			
総括	◎昨年度より0.1ポイント上昇しているが、今回のアンケートの中で一番低い結果となっている。しかし、生徒アンケートでは高い数値を示している。			
改善	◎来年度の教育課程を編成する上で、目標とする効果、取り組み内容、時間などについて生徒のニーズに合わせて検討したい。来年度も改善項目として取り組んでいく必要がある。			

参考資料
生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年	
20	テスト前のレベルアップ学習は役に立っていると思いますか。	3.6	3.6	

3 昨年度同期と比べイメージが良くなった(平均が高くなった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
6	会議は、能率的に行われている。(改善項目①)	3.3	0.2	0.0
	課題・意見			
総括	◎昨年度の評価を受け、改善に取り組んだ結果、会議時間を大幅に短縮することができた。そのため昨年度と比べて高い評価を得ることができた。今後は「中身の充実」を課題に「内容の精選」「検討課題の洗い出し」などに取り組んでいきたい。来年度も改善項目として取り組んでいく必要がある。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
7	校務分掌は、適切に機能している。	3.3	0.1	-0.1
	課題・意見			
総括	◎昨年比と比較し、高い評価を得ることができた。			
改善	◎今後も経営方針や努力点を踏まえて協力的に行う。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
8	校内研究は適切に推進されている。(課題設定・組織・運営)	3.4	0.1	0.0
	課題・意見			
総括	校内研の研究テーマのもと、ICTの活用について職員全体のスキルアップができたことは大きな成果と考える。			
改善	新学習指導要領の実施に伴い「主体的、対話的で深い学び」に向けた授業改善や「指導と評価の一体化」などについても研究を進めていく必要があると考える。また、授業改善に向けたICTの有効活用方法についても引き続き研究を進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
10	危機管理(防犯・防災)マニュアルが整備され、教職員に周知・徹底されている。	3.5	0.2	0.1
	課題・意見			
総括	◎昨年比・前期比に対して、高い評価を得ることができた。			
改善	◎児童生徒等の生命を守り、安全を確保するために、「危機管理マニュアル」は、常に教職員全体で見直し、改善していきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
33	地域の人材や施設を活用し、地域の教育力を生かす取り組みがされている。	3.1	0.2	-0.2
	課題・意見			
総括	◎コロナ禍あるが可能な限り、「地域とともにある学校」を目指し、教育課程の見直しをするとともに、授業・行事等において積極的に地域の教育力を活用していきたい。			
改善	◎コロナ対策を実施し安全面での配慮を行いながら、地域の教育力を活かしていく。			

4 昨年度同期と比べイメージが悪くなった(平均が低くなった)内容

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
3	学年・学級の教育活動計画が、経営方針や努力点を踏まえた具体的な ものになっている。	3.3	-0.2	-0.1
	課題・意見			
総括	◎昨年比や前期比と比較して、ポイントが若干下がっている。			
改善	◎今後も経営方針や努力点を踏まえて協力的に行う。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
4	マネジメントサイクル(P→D→C→A)により、教育活動が取り組まれている。	3.2	-0.2	-0.1
	課題・意見			
総括	◎PDCAサイクルを実施し、教育活動の改善を心がけることができた。			
改善	◎今後もマネジメントサイクルを確立し、改善しながら全職員で適切に行っていく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
15	日常の健康観察や健康に対する自己管理能力向上のための取り組み が行われている。	3.3	-0.2	0.1
	課題・意見			
総括	◎新型コロナ禍の中で、毎日の健康観察や生徒の訴えに的確に対応することができた。			
改善	◎新型コロナに対応しながら、今後も生徒の実態に即して適切に推進していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
16	授業時数管理を適切に行い、年間指導計画を遅滞なく実施している。	3.4	-0.2	-0.1
	課題・意見			
総括	◎新型コロナの影響で、行事等の見直しがあり計画通りに行えない時があった。			
改善	◎今後も年間計画に沿って適切に管理していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
32	不登校生徒を復帰させる指導、不登校生徒をつくらない指導をしている。 (改善項目⑥)	3.2	-0.2	-0.1
	課題・意見			
総括	◎昨年比や前期比と比較して、ポイントが若干下がっている。不登校気味の生徒数が増えている。			
改善	◎担任が家庭訪問して家庭での状況を確認しながら指導を継続してきている。不登校対策会議も定期的に設けられ、外部機関であるかがやき教室等との連携を進めて対応を行っている。SCの利用が進められて効果を上げてきているが、目に見えるほどの成果にはつながらないので継続する必要性を感じる。学校として組織的な対応をこころがけ、外部機関と連携しながら、未然防止・早期発見・支援・対応を心がけていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
34	学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け、情報の収集が行われている。	3.2	-0.2	0.0
	課題・意見			
総括	◎新型コロナ禍のため機会があまり設けられていない。			
改善	◎学校評議員制度を有効に活用し、地域の要望や情報収集を行っていく。また、コミュニティースクールの実施に向けても市教委等と協議していく必要性がある。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
38	学校に対する要望等を聞くなどの機会を設け、情報の収集が行われている。	3.2	-0.2	0.0
	課題・意見			
総括	◎新型コロナ禍のため機会があまり設けられていない。			
改善	◎学校評議員制度を有効に活用し、地域の要望や情報収集を行っていく。また、コミュニティースクールの実施に向けても市教委等と協議していく必要性がある。			

5 改善項目への取り組みの状況

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
17	生徒が授業において「わかる」「できる」という思いを感じている割合は高いと思う。(改善項目②)	3.2	0.0	0.1
	課題・意見			
総括	◎昨年比と同数値を示している。 ◎生徒アンケートでは3.5と前回より高い数値を示しているが、保護者アンケートでは2.4と低い数値となっている。			
改善	◎我々教師にとって、わかる授業の創造は最も大切な課題であると考えている。生徒の能力や発達段階に応じてどのように授業を進める必要があるのか、来年度も継続して改善項目として取り組み、生徒から「できる」という回答が得られるよう努めていきたい。また、ICTを効果的に活用する授業づくりにも務めていきたい。			

参考資料

生徒アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年
7	あなたは、授業で学んだことが身についていると思いますか。	3.2	3.3
8	先生はわかりやすい授業をしてくれますか。	3.5	3.5

保護者アンケート

番号	質問項目	今回avg.	昨年
6	お子さんは、学校の授業がわかりやすいと言っていますか。	2.4	2.6

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
18	道徳の時間授業時数管理を適切に行い、年間指導計画を遅滞なく実施している。(改善項目④)	3.5	-0.1	-0.1
	課題・意見			
総括	◎教科化にとまなない、学年内で連携しながら適切に実施できている。			
改善	◎今後も年間計画に沿って適切に管理していく。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
43	いじめのない学校づくりができている。(改善項目⑨)	3.3	-0.1	-0.1
	課題・意見			
総括	◎昨年比より0.1ポイント減少している。いじめは全教職員がどの学校にも起こりうるのが「いじめ」という認識のもとで組織的対応を図りたい。また未然防止として、いじめのない学校づくりに取り組んでいきたい。			
改善	◎今後も生徒指導部会、いじめアンケートなどを効果的に活用し情報の収集・交換を行い、いじめの「早期発見、即時対応、早期解決」ができる組織的な取り組みを心がけていきたい。			

『学校関係者評価』

1 学校関係者評価委員会

実施日 令和4年2月9日(水) 評価者 学校評議員(5名)

2 評価内容

- 「個に應じる」。生徒からすれば自分専用にカスタマイズされた指導や対応でなければ達成されているとは言えないと思います。それは公教育では難しいことです。何でも学校で引き受けず、これから先は別の機関や民間が関わる範囲だということを学校・生徒・保護者が共有すべきだと思います。
- コロナ禍による子どもたちの損失は計り知れないでしょう。きめ細かな学習指導について、先生の本分はなんといっても授業でしょう。昔ながらのやり方では限界があると思います。あらゆるツールを使って先生ものびのび教えることができれば子どもたちの中に残るものがあると思います。
- 未知のウイルスとの戦いの中、学校の大変さは想像以上のものがあり、先生方も苦労されていると思います。生徒への寄り添い方、保護者との接し方、行事の実施方法など課題はたくさんあると思いますが、こんな時こそ原点回帰をお願いします。親も子も学習面に不安があるように思います。
- 先生方は忙しすぎです。やることを整理したらどうでしょう？「先生になりたい」という子どもはいますか？学校は素晴らしい場所です。ここでしか未来は創れないと思います。
- 教職員の過重労働が社会問題となっている状況下、改善策を探るようなアンケート項目の追加を検討してはいかがでしょうか？
- ICTの活用状況を保護者や地域に発信していただきたい。
- 保護者や地域の人材をもっと活用すべきである。子どもはみんなで育てるものだと思います。
- 「個に応じた指導」「発達段階に応じた指導」が改善項目としてあげられていたにもかかわらず、数値が下がってしまっている。学習指導の方法や内容・宿題の与え方、レベルアップ学習等、先生方がさらに継続して取り組んでいく課題とありますが具体的な改善策を検討する必要があると思います。
- 「いじめのない学校」について、生徒と保護者の回答に少しの差異がありますが認識の違いでしょうか？保護者の回答が気になります。
- 「本校に入学して良かったですか」という質問に対しほとんどの生徒が「よかった」と回答しており学校生活が充実し楽しく生活している様子がうかがえます。
- 部活動でも個人でも優秀な生徒が多く、まさに文武両道で頼もしく感じます。子どもたちが伸び伸びと才能や個性を発揮できていることは素晴らしいと思います。

令和4年度重点項目の設定

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
18	授業において個に応じたきめ細かな学習指導に取り組んでいる。 (改善項目①)	3.0	0.0	-0.1
	課題・意見			
	個に応じるためには教員数が増えなければ不可能か？ 放課後は部活動などもありなかなか個別に見てあげる時間がない。			
総括	◎TTや学習支援員によるフォローで個に応じた学習指導への取り組みで、昨年度より多少高い数値となっている。			
改善	◎TTの工夫や学習支援員による手厚いフォロー、ICTの活用などを工夫することで、個に応じた学習指導のあり方について継続して研究を進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
26	家庭学習を支援する手立てを行っている。(改善項目②)	3.0	-0.2	0.0
	課題・意見			
	指導しているが、なかなか定着しない。			
総括	◎前年度と同じ数値、前期より0.2減少した結果となった。また、生徒の数値は3.2であるが保護者の数値では2.9と家庭内の意識のずれが見られる。			
改善	◎家庭学習については幼少時からの習慣が大きく影響してくる。課題(宿題)の与え方、自主学習の取り組み方法など、発達段階に応じてどのように指導していくかを課題に来年度も継続して取り組んでいきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
32	不登校生徒を復帰させる指導、不登校生徒をつくらない指導をしている。(改善項目③)	3.2	-0.2	-0.1
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎昨年より数値が下がってしまい、不登校生徒数は決して少ない。			
改善	◎担任が家庭訪問して家庭での状況を確認しながら指導を継続してきている。不登校対策会議も定期的に設けられ、対策としてかがやき教室等外部機関との連携を進めて対応を図ってきている。SCの活用が進められ効果を上げてきているが、目に見えるほどの成果にはつながらないので継続する必要がある。今後も中心に組織的な対応をこころがけ、外部機関とも連携しながら、未然防止・早期発見・対応を心がけていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
38	「通信表の二期制から三学期制」への移行は効果を上げている。(改善項目④)	3.0	-0.2	-0.2
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎校務支援システムの導入に伴い新たな課題が浮き彫りになってきた。			
改善	◎今年度は3学期制に戻して3年目となる。今年度は新学習指導要領の改訂にともなう移行を中心に取り組んできたが、来年度は定期テスト回数、教科などを中心に、【望ましい3学期制の教育課程(年間活動計画)の編成】について検討を進めていきたい。			

番号	具体的な評価内容	今回avg.	昨年比	前期比
43	いじめのない学校づくりができています。(改善項目⑤)	3.3	-0.1	-0.1
	課題・意見			
	記述なし			
総括	◎しかし、いじめはどの学校にも起こりうるのが「いじめ」という認識のもとで対応を図りたい。教師個人として、組織としていじめのない学校づくりに取り組んでいきたい。			
改善	◎今後も生徒指導部会、いじめアンケートなどを効果的に活用し、いじめの「早期発見、即時対応、早期解決」ができる組織的な取り組みをこころがけていきたい。			